

丹沢たかし活動報告

市川三郷町市川大門1227 TEL/FAX 055-272-0413 丹沢たかし後援会

ごあいさつ



日本海側や北海道では大雪となりましたが、山梨は穏やかな天候のお正月を迎えました。

今年5月には改元が行われ、新たな年号が制定されます。「平成」最後となる年が、大きな災害がない1年となる様願っています。

さて、昨年の町議会議員選挙において皆様のご支援をいただき、2期目の活動がスタートしました。新議会は、定数2名削減に伴い、常任委員会が2委員会構成となりました。このたび「教育土木常任委員会」の委員長に就任いたしました。

次の世代により魅力ある町として引き継げるよう、今後も取組む決意ですので、皆様の更なるご支援を頂きたくお願いいたします。

所属委員会等

- 教育土木常任委員会（委員長）
- 議会広報編集特別委員会（副委員長）
- 議会改革特別委員会（全議員で構成）
- 環境審議会
- 土地利用審議会
- 市川大門恩賜県有財産保護財産区管理会
- 峡南医療センター企業団議会
- 社会教育委員会
- 連携型県人会・市川三郷町ゆかりの会「りんどう」理事（元設立準備委員）

■ 定例議会は、年4回（3月、6月、9月、12月）にほぼ2週間の会期で開催されます。
この他に、必要により臨時会が開かれます。



市川大門児童館餅つき大会 1月19日（土）



全12分団による消防団出初式 1月6日（日）

市川三郷町成人式 1月13日（日）参加者 146名



新成人：誓いの言葉



記念行事：ジュニアコーラスいちかわ

平成30年12月定例議会の概要

会期 12月4日(月)~14日(金)の11日間

条例の制定・改正、平成30年度一般会計・特別会計補正予算など、22議案が提出され、いずれも原案どおり可決、承認されました。



新年の八ヶ岳

主な議題等

金額：万円未満四捨五入

●30年度一般会計補正予算

1億2017万円追加（補正後予算 127億1935万円）

- | | |
|---|--------|
| ・町道箆鼻川浦線用地測量・土地購入・建物補償費追加 | 4198万円 |
| ・ふるさと納税関係事業費（特産品贈呈事業・委託費）追加 | 1498万円 |
| ・市川大門児童館用地取得費（土地開発基金から一般会計へ） | 1818万円 |
| ・狭あい道路工事費追加 | 1450万円 |
| ・若者定住促進住宅補助金追加 | 282万円 |
| ・町内小中学校特別教室エアコン設置工事設計委託料
（特別教室へのエアコン設置は100%となる。普通教室は対応済） | 398万円 |
| ・特定鳥獣捕獲実績謝礼追加 | 131万円 |
| ・耐震性貯水工事費追加 | 75万円 |
| ・公共土木施設災害復旧費 | 804万円 |
| ・農林水産施設災害復旧費 | 679万円 |

●ふるさと納税基金条例制定

・ふるさと納税の寄付金受入額が増加していることから、より効率的に事業の財源に充てるため「ふるさと納税基金」を創設し、毎年予算で定める額の基金への繰入れを可能とする。

●簡易水道事業の設置等に関する条例の改正

・寺所地区飲料水供給施設の水源が枯渇し、隣接する岩下簡易水道からの給水が必要となったため、「岩下地区 給水人口107人」を、「岩下・寺所地区101人」に変更。

●町長・教育長の給与及び旅費条例の改正

・平成30年人事院及び県人事委員会勧告による職員給与条例の改正に伴う、町長、教育長の期末手当の改定。

●職員給与条例の改正

・平成30年人事院及び県人事委員会勧告による職員給与条例の改正。

ふるさと納税 寄付金受入額推移

平成20年度	7件	40万円
平成21年度	5件	30万円
平成22年度	4件	30万円
平成23年度	5件	19万円
平成24年度	4件	21万円
平成25年度	7件	128万円
平成26年度	15件	189万円
平成27年度	84件	308万円
平成28年度	1107件	3586万円
平成29年度	1374件	4842万円
平成30年度（1月現在）		

約1億4000万円

*返礼品・委託料等経費は40%～50%

*平成28年度からインターネット上での申込み利便性を充実させた。

①ふるさと納税専用ポータルサイト（インターネットでの申込み窓口）開設

②クレジット決済対応

■ 一般質問 12月議会で以下の質問を行いました。

*詳細は市川三郷町ホームページ「議会会議録」に掲載されます。

《町スポーツ関連事業の運営体制の検討について》

- Q:** 健康づくりを含む町のスポーツ関連事業は、町関係課、体育協会、スポーツ推進委員、「NPO法人市川三郷スポーツクラブ」などで運営されている。役割分担見直しを行い、スポーツクラブを核とした体制構築が望ましいと考えるが。
- A:** スポーツクラブを核とした役割分担の見直しは重要なことだと考える。町事業について現在も一部事業の委託を行っている。今後も更なる可能性を探る中で推進していく。これにより、スポーツや健康づくりの推進だけでなく、行政の効率化やスポーツクラブの支援にもつなげていきたい。
- Q:** ニードスポーツセンターの管理はいきいき健康課で行っている。管理の概要は。
- A:** 平成17年7月オープン時より受付・清掃・トレーナー配置、運動機器の保守管理を業務委託している。町の役割は、予算管理、企画、広報、委託事業者の監督や評価。建物の修繕等。
- Q:** 体育館等新施設開館まで約1年となっている。新施設の管理の考え方は。スポーツクラブへの委託業務の対象として考えられるのか。
- A:** 新生涯学習センターの管理・運営面は、委託可能業務であるかを含め、現在検討中。
- Q:** 役場内部だけでなく、外部の関連団体を含めた検討・協議が望ましい。
- A:** 主に生涯学習課、いきいき健康課、福祉支援課で連携し共同開催している。今後、スポーツ関連団体含めた協議の場も検討していく。
- Q:** 平成29年12月、日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定書」を締結した。実施事業の具体化の検討状況は。
- A:** 実施事業について、管内学校やスポーツ関連団体への実施希望を募っている段階である。
- Q:** スポーツクラブを核とした体制を構築することについて、新体育館の完成時期を目標としての検討が望ましい。
- A:** スポーツクラブを含め関係団体には、町の体育振興発展のための尽力に感謝している。提案内容については、具体的な可能範囲を検討している。進捗した段階で議会に報告したい。

《新町公園について》

- Q:** 役場向かいにある都市公園は、条例上の名称は「新町公園」である。一方、公園に設置されている石碑は「神明公園」の表示である。名称の統一が望ましいと考えるが。
- A:** 公園は平成11年3月に完成した。愛称を公募した結果、「神明公園」とした。名称の統一については、必要に応じ都市計画審議会で協議・検討する。
- Q:** 公園南端に公衆トイレが設置されている。新設高校建設に伴い、隣接場所が新高校の正面玄関となる。移設の必要性など、県に対して問題提起すべきと考えるが。
- A:** 利用者の利便性や新設高校の景観への影響等について状況を確認しながら検討していく。



新高校建設地前の新町公園トイレ

「新町前遺跡」発見

旧町民会館・体育館跡地での新高校建設工事に当たっての発掘調査に関して、昨年現地説明会が開催されました。

町民の多くが「何もない場所」と思っていた土地から遺跡が発見され、「新町前遺跡」と名付けられました。

「甲斐源氏発祥の地」という歴史を持つ町ですが、その時代前の「平安時代」の人々が生活していた集落があったという貴重な財産が発見されました。

遺跡は埋め戻され、1月8日に新高校建設の起工式が行われ、工事が始まりました。

土器などは保存し、「発掘調査報告書」として記録保存されます。

1000年前の姿をほんの一瞬見せてくれ、これからはほぼ永久的に土の中に隠れる「新町前遺跡」ですが、改めてこの市川三郷町が「歴史ある町」であることを感じる出来事です。



中世の水田跡から多数の足跡を発見



水田より下の層から平安時代の集落跡が出土



建設が開始された新設高校用地

高校建設の主なスケジュール

	校名	建設工事	解体工事
2019年 (平成31年)	～公募 *6月 県議会で決定	1月 新校舎工事着工	
		3月 新校舎完成	
2020年		4月 新高校開校	
		12月	6月～12月既存校舎解体
2021年		体育館建設	
2022年		3月 7月	6月～10月 体育館・格技場等解体
2023年		グラウンド整備 3月 新高校施設整備完了	

宛先などに誤りがございましたら、なにとぞご容赦ください。なお、お知らせいただければ幸いに存じます。